

失敗って誰が決めるの？

いつの世も子どもは失敗したことを気にしがちですね。
でも、失敗っていったい誰が決めるものなのでしょうか。
今回は、私の失敗(?)体験をふまえてお伝えしたいと思います。

約30年前のことになりますが、まだ私が学生だった時、窯元に行き陶芸を習っていました。教えてもらったことの総決算で一枚の皿にチャレンジしていました。

その皿が完成する直前のこと、どんな色にするか、どんな模様にするかを考えていました。そして、考えたのが、白地に少し濃い目の線を3本つけるデザイン。

細い線は筆で、最後に太い線は大きな刷毛に釉薬をたっぷりつけて塗り上げました。後は、釉薬が固まるように、もう一度焼きます。どんな色になるかは、焼いてみないとわかりません。ドキドキしながら仕上がるのを楽しみに待ちました。



陶芸にいそむ若き日の筆者

そして、2日後。窯から出すと・・・、「あれれ???」思っていた色と全然違う!というか、塗ったはずの茶色がほとんど出ていない。「せっかくここまでうまく作っていたのに、最後の最後で失敗してしまった・・・。」私はひどくがっかりしました。



その時の皿(校長室に飾っています)

失敗の理由は、刷毛で釉薬を塗ったつもりだったのに、逆に刷毛で下地の白い色までもこすり取ってしまっていたのです。

陶芸の先生に皿を持っていき、悔いを残しながら「先生、最後に失敗してしまいました。」と力なく伝えました。

ここで陶芸の先生は、意外なことを言われたのです。それは、「君は失敗といったけど、私から見るとこれはとてもいい。君の傑作だよ!」

信じられませんでした。失敗だと思っていたのが、とてもいいと言ってもらえるなんて! 続けて陶芸の先生がこうおっしゃいました。

「よし、この皿を今度ある県の作品展に出品して、たくさんの人に見てもらおう。」

何と、私が失敗したと思っていた皿は、大きなデパートで開かれた「アマチュア陶芸作品展」に出してもらえたことができたのです。

こうして失敗だったはずの皿は、思い出のある私の宝物となりました。

さて、田井小の子どもたちや教職員にとって、この2学期は笑顔で挑戦し、やり切るチャンスがたくさんある学期です。

挑戦する中で、もしかしたら「失敗した」と思う場面があるかもしれません。

しかし、私のこの皿のように、自分で失敗だと思っても、他の人から見たら上手と思ってもらえたり、大成功だったりすることもあるのです。

2学期も学校行事や普段の勉強・生活などで、友達や先生と一緒に「笑顔と挑戦を大切にやり切る」学期にしたいと思います。

田井小学校「人権週間」の取組

～自分を大切に、相手を大切に、みんなを大切に～

田井小学校では9/8～9/12を人権週間と位置づけ、子どもたちや教職員や保護者や地域の皆さんお互いの人権意識をさらに高め、啓発するために、様々な取組を行いました。

ご参加、ご協力いただいたみなさんに感謝しながら、一部紹介します！

全校人権集会

9/9には人権集会を行いました。友達の想いや考えに気づき受け止めること、自分や友達のよさに気づこうとすることについて、様々なワークショップを通して具体的に体験しました。

特に、自分では気づいていなかったよいところを友だちから認めてもらう場面がとてうれしく楽しそうな様子でした。

見ようとしなければ見えないこと、相手を認める温かなかわりについて、子どもも教職員も学ぶことができ素敵な時間になったと思います。



人権・同和教育授業公開

9/11に授業公開を行いました。たくさんの保護者の方に参観していただき、子どもたちはいつもよりさらによく考え、発表していました。

1・2年・たんぽぽ 道徳「はしのうえのおおかみ」
3・4年 道徳「二番目の悪者」
5・6年 道徳「ブランコ乗りとピエロ」
ひまわり 自立「伝えよう自分の気持ち、
想像しよう相手の気持ち」

温かい心で親切に接すること、事実をもとに自分で考えよりよい判断をすること、多様な考えを尊重し合うこと、相手の想いや願いをくみ取ろうとする大切さなどについて、発達段階に応じて学習しました。

この他、友だちや自分のよさを伝える「ほかほかハートの木」、「人権標語づくり」にも取り組みました。



PTA・地域合同研修会

授業公開日に合わせて、研修会を行いました。

○講師 石飛紫明さん（おんせんキャンパス）

○テーマ 「子どもの心のエネルギーと具体的な関わり方」

研修では子どものいいところを探してほめるコツについて、「短所を長所に置き換える（リフレーミング）こと」や「褒めるハードルを下げると褒めやすくなること」などを具体的に学びました。

「最近、ほめることより叱ることの方が多かったです。子どものいいところを見つけてほめたいと思います。」とか、「親自身が心にゆとりをもって、子どもに前向きな言葉をかけたいと思いました。」などの感想が聞かれ、参加された方にとって学びの大きい研修でした。



田井小の魅力的な活動

ひまわり・たんぽぽ学級の研究授業

9/8に2学期最初の研究授業を行い、教職員が授業づくりについて学び合いました。

今回は、夏野菜の売り上げ（教職員に販売したもの）の使い道を考える授業でした。子どもたちは、自分や友達の想いを大切にしたり、予算や時間内で実現できることを想定しながら、とてもよく考えていました。実現に向けた挑戦はこれからも続きます。



連合修学旅行に向けた結団式

9/25～26に吉田小と田井小の5・6年生が連合修学旅行に行きます。9/10にはそのための結団式と交流会を行いました。

結団式では、児童と引率者の楽しい自己紹介や係別会を行い、さらに意欲が高まりました。

小学校の修学旅行はもちろん一生に一度。心に残る思い出になります。めあてを大切にいい旅行にしたいですし、修学旅行を通して両校のこのメンバーの絆がさらに強くなるといいですね。

交流会では県立青少年の家の方に来ていただき、ワークショップやゲームを通して、さらになかよくなることができました。



体育祭見学

9/12に吉田中学校の体育祭見学に出かけました。

卒業生や昨年度の「吉田っ子フレンズだいさくせん」で仲よくなった中学生に声援を送りました。

特にリレーでは中学生のスピードにびっくりしている小学生が多かったです。



川の水質調査の発展版



9/17に3・4年生が川の水質調査を行いました。

県環境保健公社等から講師の方に来ていただき、3か所を移動しながら調査しました。

水温、透明度、COD検査、水生昆虫等から詳しく調べました。講師の方からは、1学期より調査に慣れていてスキルアップしている、話をよく聞いて行動できていた等、たくさんほめていただきました。

第35回永井隆平和賞発表式典



今年は戦後80年、本平和賞も第35回の年で、例年にも増して盛大に式典が行われました。

華やかな式典の中で、本校児童が平和賞作文「小学校高学年の部」の優秀賞に輝き、表彰されました。

小学校高学年の部は全国から371もの作品が応募され、本校児童の作文は第2席に入るといふ快挙でした。おめでとうございます！

ありがとうございました！



8月24日（日）の環境整備作業では、早朝よりたくさんの保護者の方や田井地区振興協議会の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

おかげで気持ちよい環境の中、2学期を迎えることができました。

今後も田井小学校及び吉田町内の子どもたちを地域の大人が支える取組にご理解とご協力をお願いいたします。

夏休み作品展



玄関ロビーで開催しています（概ね9月いっぱい）。夏休みに子どもたちが取り組んだ力作をどうぞご覧ください。

今後の主な行事予定(～10/31)

《9月》

- 25～26日 吉田小との連合修学旅行〔広島県〕
高学年
- 29日 9月ロードレース大会
- 30日 まちたんけん 低学年

《10月》

- 1日 吉田小との消防署見学 中学年
プログラミング学習 高学年
- 8日 西部ブロック特別支援学級交流会
- 9日 市陸上大会〔大東陸上競技場〕中・高学年
- 10日 （11予備日）
- 17日 前期成績渡し
- 20日 吉田小とのピコテラス体験学習 高学年
- 21日 吉田小との棚山登山 低学年
吉田小との警察署見学 中学年
- 22日 10月ロードレース大会
スクールカウンセラー来校日
- 24日 授業公開日（健康教育）
給食試食会
学校保健委員会研修
- 30日 遠足 1～4年

田井小学校ホームページ

田井小学校

